



カナダ – NAFTA再交渉、米と合意発表 –

POINT 3か国の通貨は揃って上昇

現地時間9月30日深夜、NAFTA(北米自由貿易協定)再交渉をめぐり、米国とカナダが合意に達したとの報道がなされました。8月末に暫定合意に至った米国・メキシコ間での新協定にカナダも合流することとなった模様です。今回の合意により、米ドル、カナダドル、メキシコペソはいずれも対円で大きく上昇しています。特に米ドルとメキシコペソは、日本時間10月1日14時00分時点で1米ドル=113.93円、1メキシコペソ=6.12円まで上昇し年初来高値となっています。カナダドルも2月以来の水準である1カナダドル=88.71円まで戻っています。

POINT カナダが大枠で合意

カナダは、今回の合意で米国が求める乳製品の市場開放で一定の譲歩を示す形になりました。また大きな懸念材料だった自動車についても、カナダは米国への輸出が一定以上の水準まで増えれば数量規制に応じることと合意することで、米国によるカナダからの輸入自動車への高関税措置を回避した模様です。

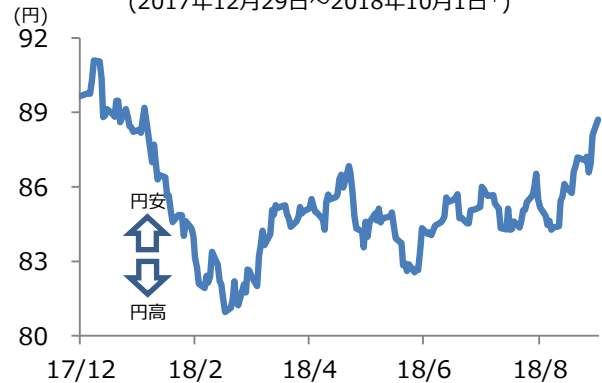
今後の見通し 金融市場の安定化に寄与

新協定の名称は米国・メキシコ・カナダ協定(USMCA)で、11月末までに3か国首脳が署名する予定です。

トランプ米大統領が2016年の大統領選から公約してきたNAFTAの見直しが合意に達したことは、米貿易赤字の縮小と国内製造業の復活を掲げるトランプ米大統領にとって、非常に大きな成果となり得るものです。また、今回の合意により、世界最大の経済圏での懸念が後退することになり、金融市場の安定化に大きく寄与するものと思われます。

–カナダドル/円の推移–

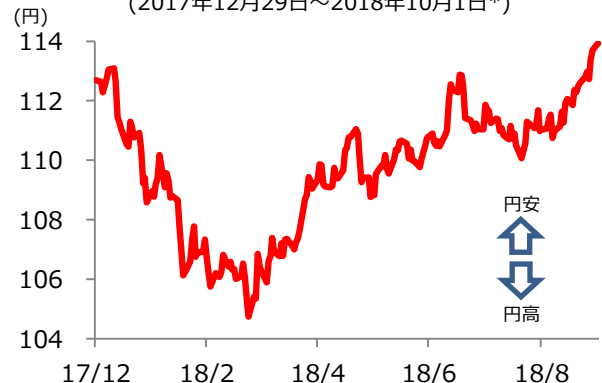
(2017年12月29日～2018年10月1日*)



*10月1日の数値は日本時間14時00分時点

–米ドル/円の推移–

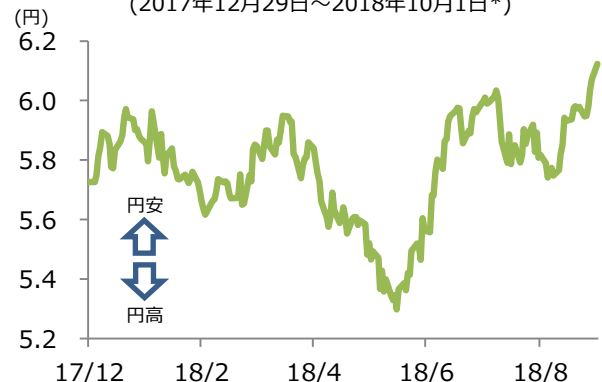
(2017年12月29日～2018年10月1日*)



*10月1日の数値は日本時間14時00分時点

–メキシコペソ/円の推移–

(2017年12月29日～2018年10月1日*)



*10月1日の数値は日本時間14時00分時点

出所：Bloomberg

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいわすみざん

大和住銀投信投資顧問

Daikin SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長金商第 353 号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会